

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第3回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）協議（公開）

地域活動支援事業について

### （2）その他（公開）

## 3 開催日時

平成28年5月21日（土）午後1時30分から午後5時5分まで

## 4 開催場所

はーとぴあ中郷 研修室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：岡田雅範、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、古川由美子、  
松井伸枝、松原功

・事務局：山田弘中郷区総合事務所長、見波正美次長、城戸俊夫市民生活・  
福祉グループ、教育・文化グループ長

総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、樋口和輝主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは  
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

## 8 発言の内容（要旨）

### 【丸山班長】

・会議の開会を宣言

### 【高橋会長】

・挨拶

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【高橋会長】

- ・会議録確認：「竹内靖彦」委員と「古川由美子」委員に依頼。
- ・協議事項(1)の「地域活動支援事業について」  
事前配布された資料等の説明を事務局に求める。

【丸山班長】

- ・事前配布資料等に基づき説明

【高橋会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

－ 特に質問・意見等なし。会場の設定変更 －

【高橋会長】

- ・プレゼンテーション開始宣言  
中郷観光協会の説明を求める。

【中郷観光協会】

- ・提案書に基づき説明

【高橋会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【竹内(靖)委員】

中郷区における補助限度額は、「おおむね100万円」と要項で定められている。この「おおむね100万円」という文言の捉え方にもよると思うが、貴団体の130万円は「おおむね100万円」の範囲を超えすぎている気がする。もう少し減額できないか。

【中郷観光協会】

昨年、旧待合室を改装した時も全くお金が足りなかったことから、商工会を通じて区内の商工業者に寄付金をお願いした。今回の130万円は多すぎるかと思うが、通るものであれば通していただきたいと思っている。もし、通らなければ何らかを削っていかねばならないということは、重々承知しているつもりだ。

【高橋会長】

中郷区の要項では「おおむね100万円」と定められていることから、通るとか通らないということではなく、これに近いような額になるよう努力していただきたいと感

じている。

**【古川委員】**

私は中郷区の住民でありながら、実は二本木駅をあまり利用していない。今年から運行が開始された、リゾート列車「雪月花」が同駅に停車することも知っていたが、わざわざ見に行く気にはなれない。地元の住民がもっと協力すれば大変良い事業になると思われるが、PR活動も住民に浸透するような工夫が必要だ。現時点では、どのようなことを考えているか。

**【中郷観光協会】**

日曜日になると二本木駅前の商店街が店を閉めているため、外から来られる方々に不便をかけている。このため、商工会では第1及び第3日曜日に市場を開催することを考えてくれているようである。なお、今年新たに発足した四季の会のメンバーが、第2及び第4日曜日に旧待合室（なかごうさとまる～む）の喫茶コーナーを担当しており、これにより日曜日には関係者の誰かが駅にいるような体制にしていきたいと考えている。

**【高橋会長】**

続いて、縄文学校の説明を求める。

**【縄文学校】**

- ・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【竹内(靖)委員】**

9月10日（土）に土器の野焼きを資料館で行うことになっているが、この日は区の敬老会がすでに予定されている。支障は生じないか。

**【縄文学校】**

昨年度から、父兄が子供達を資料館まで送迎することになった。このため、朝は混雑が予想されるため、スタッフが交通整理にあたるよう考えているところである。また、場所についても多目的室もしくは図書室を使用する予定である。

**【古川委員】**

講演会を開催することになっているが、講演会というとなんか難しいイメージがある。はたして、皆が縄文時代に興味を持てるか疑問だ。子供達も参加していることか

ら、例えば「漫画で学ぶ中郷の縄文時代」というような形で冊子などを作成し、各戸に配布してはどうか。

**【縄文学校】**

子供達には、遺跡専門の考古学を学んだ学芸員の方が毎回バックアップし、授業を始める前にいろんな話をしてくれる。講演会については、日本の縄文学のトップの方である岡村先生をお招きする予定である。以前、この方の話を聞いたことがあるが、話はうまいし、子供向けの話も準備してくれる。このため、そんなに肩苦しいものにはならないと思われる。なお、今ほど、ご意見のあった漫画の件については、良い提案だと思うのでこれから検討してみたい。

**【高橋会長】**

子供達へのPRについては、募集要項等をその都度配布する予定なのか。

**【縄文学校】**

その通りである。

**【岡田(雅)副会長】**

この事業に参加したい場合は、縄文学校の生徒にならないといけないのか。

**【縄文学校】**

生徒になる必要はない。興味のある時だけ来ていただき、見学するだけでも構わない。

**【高橋会長】**

続いて、中郷区まちづくり振興会の説明を求める。

**【中郷区まちづくり振興会】**

- ・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【高橋会長】**

高齢者のふれあい事業において、板倉区のやすらぎ荘を利用するとのことであるが、地元にはひばり荘があるため、こちらもぜひ活用していただければと思う。

**【岡田(雅)副会長】**

いろんな事業を手掛けており、非常に頑張っている印象を受けるが、イベント等を行う際、人手は足りているのか。

**【中郷区まちづくり振興会】**

広報等により年間を通してボランティアの募集をしており、人数は少しずつ広がってきている。この事業を行うことでPRにもなり、ボランティアの方々が増えることを期待している。

**【古川委員】**

四季の会は、どのような年代の方が会員となっており、人数はどれ位いるのか。

**【中郷区まちづくり振興会】**

特に年齢制限は設けていない。現在の会員は50代～60代で、30人前後である。郷土料理を中心に広げていきたいという想いで活動している。

**【松原委員】**

青年会の年齢制限はあるのか。

**【中郷区まちづくり振興会】**

対象年齢を18歳以上40歳未満としている。

**【高橋会長】**

続いて、中郷の子どもを育てる会の説明を求める。

**【中郷の子どもを育てる会】**

- ・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【竹内(靖)委員】**

文部科学省が、ダンス教育を必須科目にしている狙いはどのようなものがあるのか。

**【中郷の子どもを育てる会】**

子供の体が変わってきていることが大きく関わっている。何が変わってきているかというと、例を挙げれば、洋式のトイレのみ使用していると、和式のトイレで行う「しゃがむポーズ」ができなくなり、現にほとんどの子ども達は、このポーズができない。このため、ヒップホップダンスを活用し、普段使わない筋肉を鍛えようというのが狙いの大きな一つである。

**【松原委員】**

生徒の披露の場が、夏まつりのみとなっている。せっかくのお披露目が、この1回のみというのは何か寂しい感じだ。新潟市に行くと、ダンスの大会などが盛んに開催

されている。中郷は広い場所があるため、ここで大会を開催することができたら面白いと思う。

**【中郷の子どもを育てる会】**

良い提案だが、競技会や大会となると勝ち負けやランク付けが生じてしまい、こちらの狙いと違ってくることになるため、今のところそれは考えていない。

**【高橋会長】**

続いて、中郷区まちづくり振興会生活環境部の説明を求める。

**【中郷区まちづくり振興会生活環境部】**

- ・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【岡田(雅)副会長】**

大変良い事業だと思われるが、風が吹けば剥がれてしまうような状態となっているため、ポスターが可哀想な気がする。例えば、亚克力板を使い、ポスターをサンドイッチにすることはできないか。そのようにすれば風にも強くなり、見栄えも良くなると思うが、いかがか。

**【中郷区まちづくり振興会生活環境部】**

これまでは、ラミネート処理をするとともに、1枚につき画鋏を20個程度金槌で打って飛ばないようにしてきた。今ほど提案のあった事については、検討させていただきたい。

**【高橋会長】**

続いて、中郷ジュニアXCスキー育成会の説明を求める。

**【中郷ジュニアXCスキー育成会】**

- ・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【古川委員】**

現在、会員はどれ位いるのか。

**【中郷ジュニアXCスキー育成会】**

中学生のスキー部は全部で6人、小学生はこれから入ってくる人がはっきりしない

が、10人～20人位になる見込みである。

**【松原委員】**

スキーは大変お金のかかるスポーツだと認識している。昔、スキーは必須授業であったことから、冬場の体育はスキーのみだった気がする。これは、現在も変わっていないのか。

**【中郷ジュニアXCスキー育成会】**

現在、中学校は体育の授業でスキーはしていない。一方、小学校は今も変わらず全校で取り組み、全員がスキーをしている。

**【高橋会長】**

続いて、アロハ中郷の説明を求める。

**【アロハ中郷】**

- ・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【古川委員】**

人数が8人であると、定期的に何処かへ慰問することは困難ではないか。

**【アロハ中郷】**

勤めている人もいるため、定年退職した人達が主に慰問することになる。先日、5人で原通へ慰問に行ったが、ここはステージがあまり広くなく、この人数でも狭いくらいだった。皆さんからは大いに楽しんでもらえた。

**【古川委員】**

少ない人数でも、高齢者施設が狭いところであれば、華やかになると思われるが、会員が少ないため、慰問先から依頼があってもなかなか都合がつかずに行けないこともあるのではないかと。そのようなことになると、頼んでも無理なのかということになってしまう。ぜひ、もっと会員が増えるよう募集していただきたい。

**【高橋会長】**

夏まつりには、以前から披露されていたのか。

**【アロハ中郷】**

今年初めてとなる。呼んでいただければ嬉しいと思い計画した。

－ 休憩（10分）－

**【高橋会長】**

続いて、中郷商工会青年部の説明を求める。

**【中郷商工会青年部】**

・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【竹内(靖)委員】**

イベント出演時旅費が1回3,000円となっている。これは、市内外問わず一律ということで決めているのか。また、他のイベントにおいてキャラクターを貸出しする際の送料が計上されているが、そもそも送料を負担する必要があるのか。

**【中郷商工会青年部】**

旅費については、中郷区外に行った場合一律3,000円としている。また、送料については、こちらから送る場合のみ負担をし、返してもらう時には貸出先から負担してもらうことにしている。

**【竹内(靖)委員】**

相手先から要望があるから貸出しするのであって、この送料について地域活動支援事業を使い支出することが適当なのか甚だ疑問である。今後は、送料込みの料金を予め決めておいた方が良くと思う。

**【古川委員】**

提案書に「中郷区の特産品を更にPR出来るよう・・・」とあるが、具体的にどのような物を考えているか。

**【中郷商工会青年部】**

岡沢の平井ファームで栽培している「よいち米」や、中郷区内における各飲食店の名物料理などである。

**【古川委員】**

青年部が自ら特産品を作り出そうという考えはあるのか。

**【中郷商工会青年部】**

現段階では具体的な考えを持ち合わせていないが、様々な意見を集約しながら今後実現に向け進めていきたいと思っている。



**【古川委員】**

特産品は人が作ったものをPRすればよいと思っていると、なかなか新たな特産品は生まれてこない。中郷の良さをどのように出すか、若い青年部の柔軟な発想で今後も頑張っていたきたい。

**【竹内(昭)委員】**

のぼり旗とポールの数量が異なるのは何故か。

**【中郷商工会青年部】**

以前作成したのぼり旗のうち、経年劣化により損傷している旗が、同様に損傷しているポールに比べ多いことから、このような数量となった。

**【高橋会長】**

続いて、二本木・松崎宿保存研究会の説明を求める。

**【二本木・松崎宿保存研究会】**

・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【高橋会長】**

印刷製本費の中でコピー用紙が大量に計上されているが、これは特別な印刷物を作るための費用なのか。

**【二本木・松崎宿保存研究会】**

コピー用紙は、かわら版の発行や史跡案内図に係る費用として計上している。

**【高橋会長】**

次の発表者がまだ来ていないため、発表順の10番と11番を入れ替える。続いて、江端町内会の説明を求める。

**【江端町内会】**

・提案書に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【岡田(雅)副会長】**

江端町内会1団体で行っているということであれば、もしこの補助制度が無くなった場合、事業は中止してしまうのか。

【江端町内会】

補助制度が無くなった場合のことを考え、昨年より1年草から多年草への移行を実施している。これにより、事業は継続していきたいと思っている。

【松原委員】

総合体育館周辺の草刈り等については、市の経費で行われているのか。

【江端町内会】

その通りである。

【岡田(雅)副会長】

総合体育館と同類の施設が市内一円にあるが、例えば特定の場所に花を植えたいと言ってもそれはできないのか。

【山田所長】

花壇としての用途がある場所であれば、植えることは可能と思われる。現に総合事務所前の花壇は、市の予算でシルバー人材センターに管理をお願いしている。

【高橋会長】

続いて、中郷小学校PTAの説明を求める。

【中郷小学校PTA】

- ・提案書に基づき説明

【高橋会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

【岡田(雅)副会長】

具体的な実験内容を決めていないとのことであるが、現時点ではどのようなことを考えているのか。

【中郷小学校PTA】

環境に関することを優先に、検討しているところである。

【高橋会長】

続いて、岡沢老人クラブ松寿会の説明を求める。

【岡沢老人クラブ松寿会】

- ・提案書に基づき説明

【高橋会長】

今ほどの説明において質問・意見等を求める。

**【松原委員】**

当事業の取り組みを聞きつけた岡沢地区以外の方が、決められた乗車場所に行った場合、中郷区の住民であれば乗せてもらえるのかという話を何人かより聞いている。対応してもらえるのか、お聞きしたい。

**【岡沢老人クラブ松寿会】**

この件に関しては、以前 2 点ほど指摘をいただいたことがある。1 点目は、そのために乗合タクシーが運行されているということであり、もう 1 点は、もし他の地区を回るようなことをすると営業行為になるということであった。このため、当事業については岡沢・福田のいわゆる西部地区の住民を対象にしている。もし、例えば片貝など南部地区の住民が参加を希望される場合は、岡沢の乗車場所まで来ていただければ対応は可能である。

**【古川委員】**

参加人数はどの位なのか。

**【岡沢老人クラブ松寿会】**

平均で 12～13 人位である。

**【高橋会長】**

マイクロバスの借上料が安くなっているが、これには何か理由があるのか。

**【岡沢老人クラブ松寿会】**

マイクロバスは中郷区内の自動車会社に例年お願いしている。同会社の社長からは、「本来ならば、こちらも同様のことを行いたいと思っているが、仕事も忙しく、なかなか皆さんに貢献できななので、金額の面で協力させていただきたい。」との話をいただいております。これにより借上料が安くなっている。

－ 全団体からの発表が終了、地域協議会委員の意見交換 －

**【高橋会長】**

仮審査の採点結果一覧表をみると、「アロハ中郷」について 1 名の方が基本審査及び採択方針ともに否としている。過去にも同様のケースがあったかと思われるが、どのように取り扱ってきたのか。

**【樋口主事】**

過去においても数名の方が否とした事業があった。しかしながら、協議の中で全体の意見として適合扱いとし、結果この事業については採択されている。なお、今回の

「アロハ中郷」の件について、委員から提出いただいた仮採点票の備考欄に関連する記載があったため、報告させていただく。本日欠席の委員からで、記載内容は「中郷区でこのような趣味のグループ活動は多数あり、各々自前で賄っている。過去にも同様の事業提案があったが否としている。地域協議会全体の中で協議し判断する必要がある。」ということである。

**【竹内(靖)委員】**

現在は主だった団体の申請が多くなってきている。これが、中郷区にとって理に適っているかというところではなく、このような団体が声を上げ、それに対し機会を与えることが大事だと思われる。「アロハ中郷」は平均年齢が高い中、自分達の踊りと楽しみと生きがいを持って一生懸命取り組んでいる。このような団体は支援すべきと考えており、個人的には何ら問題ないと思われる。

**【高橋会長】**

私もこの事業については、大変良いものだと思っている。自分達だけのためではなく、施設を慰問するなど取り組みに対し頭が下がる想いである。本日は欠席委員が多いことから、この件については次回の協議会において再度協議の上、最終的に判断したい。

**【樋口主事】**

「中郷観光協会」についても、仮採点票の備考欄に2名の方から記載があったため、報告させていただく。どちらも本日欠席の委員からで、記載内容は「補助限度額の超過について検討が必要。」「上限が100万円なので、上限額に合わせていただきたい。」ということである。

**【高橋会長】**

事業内容のことではなく、補助金額について記載があったとのことである。130万円は、要項で定められている「おおむね100万円」に値しないのではないかという意見であるが、皆さんの考えをお聞きしたい。

**【竹内(靖)委員】**

今回この130万円を認めると、次年度以降同様のケースがあった場合も認めなくてはならないことになる。そうすると、「おおむね100万円」の金額が揺れ動く可能性がある。このため、可能であれば今回は100万円にさせていただき、必要であれば2次募集で対応することにした方が良く思う。

【古川委員】

削減できるのであれば、削減する努力をしていただきたいと思います。

【竹内(昭)委員】

上限額を定めているのは、できるだけ多くの提案者に対し分配したいという思いがあるためであり、提案のあった各団体はこれに合わせ申請している。このため、できれば額を調整していただければと思う。

【高橋会長】

提案者に対し、このような意見があったことを報告のうえ、次回の協議会において再度協議し、最終的に判断したい。

【高橋会長】

その他、委員の発言を求める。

－ 全委員なし －

【高橋会長】

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、6月9日(木) 午後6時30分から地域活動支援事業の審査結果等を案件として「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後5時5分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 4 - 2 4 1 1

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。